

Hitachi Aloka Medical,Ltd.

+++PRESS RELEASE+++

超音波診断装置の新製品 ARIETTA Precision / ARIETTA Prologue の発売

日立アロカメディカル株式会社（本社：東京都三鷹市牟礼 6-22-1 取締役社長：清村 幸利、以下日立アロカメディカル）は、超音波診断装置 ARIETTA Precision / ARIETTA Prologue を発表します。

近年、高度急性期医療や慢性期医療・地域医療における超音波診断装置の重要性は高まってきています。また、導入するシステムや活用方法は施設ごとに異なり、装置に求められる要望も多様化傾向にあります。これらのニーズに対応するため、日立アロカメディカルは二機種の超音波診断装置を開発しました。

ARIETTA Precision*1は、外科治療に貢献し急性期医療を支えるというコンセプトのもと開発され、ARIETTA Prologue*1は、慢性期及び地域医療を支えるというコンセプトから、POCUS (Point Of Care Ultrasound)及び新規超音波診断装置ユーザー向けに開発された製品です。

1. 全面タッチパネル対応 (ARIETTA Precision、ARIETTA Prologue)

モニタに全面タッチパネルを採用、フルタッチ操作にて直感的で分かりやすい操作が可能です。また、エコー画像を大きく表示するフルイメージモードに対応、離れた場所からの画像観察や検査部位をより詳細に観察する場合に有効な機能になっています。

2. 高画質 (ARIETTA Precision、ARIETTA Prologue)

診断の妨げになるアーティファクトやノイズを低減し、組織の境界を明瞭にして観察を容易にする Silky Image Processing や、組織と血流をより明瞭に分離し、低流速の血流も感度よく描出する eFLOW 等、上級機から引き継いだ高画質化技術や機能を搭載、クリアで質の高い画像を提供します。

3. 手術室に適した ARIETTA Precision

ARIETTA Precision は従来装置とは異なるスリムなボディデザインを採用。

モニタアーム*3を用いる事により、21.5インチの大型タッチモニタをシーンに適した位置へスムーズに移動する事ができます。また、モニタユニットとベースユニットは無線接続*2することができ、取り外して運用することも可能です。専用リモートコントローラ*2*3はリアルタイムにエコー画像を表示しながらタッチ操作が可能で、スペースが限られた手術室において多彩な設置レイアウトを実現します。装置本体すべてのパーツは清拭ワイプ*2に対応し、清潔環境である手術室での運用をサポートします。

4. コンパクトなデザインと高い機動性をほこる ARIETTA Prologue

ARIETTA Prologue はコンパクトで持ち運びを考慮したデザインを採用しているため、検査するシーンを選びません。狭い病室や診察室、処置室などでも無理の無い検査体勢がとることができ、日常の診療はもちろん、整形外科、救急、往診などさまざまな場面で検査・治療をサポートします。また、検査をより効率よく行うための機能を搭載。高い基本画質を備え簡単かつ正確な診断に貢献します。

出展は2016年3月に開催される ECR（欧州放射線学会）、国内では2016年4月開催の ITEM（国際医用画像総合展）および2016年5月開催の JSUM（日本超音波医学会）にて予定しております。

*1 ARIETTA は日立アロカメディカル株式会社の登録商標です。

*2 詳細につきましてはお問い合わせください。

*3 オプション構成品です。

照会先

マーケティングコミュニケーション部 [TEL:0422-45-5991](tel:0422-45-5991)（直通）

報道機関お問い合わせ先

企画室 [TEL:0422-45-2192](tel:0422-45-2192)（直通）

以上